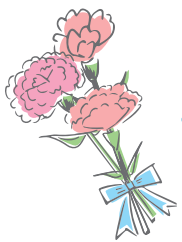


「介護の世界だつてすごく密!!!」

認め合い自分を大切に 誠の人材教育とは？



看護師 & メンタルセラピスト
時田 幸子

「青春ってすごく密!」という発信で全国の人々に感動を与えた今年の夏、第104回全国高校野球選手権大会で初優勝し東北勢で初めて甲子園大会の頂点に立った仙台商英高校野球部須江航監督の優勝インタビューの有名な言葉。更に「ただ最後、僕たちがここに立ったというだけなので、苦しい中で、諦めないでやってくれた。ぜひ全国の高校生に拍手してもらえたら」とも加え、コロナ禍で活動を制限される全ての高校生にエールを送ったのです。須江監督の名言を引用させていただきます、私も声を大にして言いたい!!!

「介護の世界だつてすごく密!!!」介護されるご本人は勿論、家族関係、家庭環境、周辺背景広範囲に及びお客様の人生を集約したアナムネ聴取し情報共有することでその後の治療、最期の瞬間まで我々医療従事者・介護者が関わりを持たせていただくのですから。

今年3回目のコラム。毎回伝えたいことが盛り沢山でテーマを絞るのに迷いますが、前文の「高校生」の部分で「介護者」「医療従事者」に変えて読んでいただき私からエールを送る意味で、今回は看護師として働き始めた頃の私のような人達の為に10年後、

20年後、未来の在りたい姿を想像し受け取ってください。皆さんを思い浮かべお伝えします。昔の私ってどんな私? 早速書き出してみたら、あっという間に30個以上出てきました。(苦笑)例えば、
1 自己肯定感が低い
2 Noが言えない
3 人の顔色ばかり気になる
4 どうせ私なんてと直ぐ拗ねる
5 頑張っていればいつか報われる! etcそんな幻想を信じて疑いませんでした。

「わかる〜」まさに自分も同じ! そんな風に感じてくれた方に読んでいただけたいことを願います。介護の仕事を通して未だの自分がより良い変化・進化・成長を遂げる為に今何をやるか?に視点を当ててみましょう。

「人は変えられない」「変えられるのは自分だけ」

目指して、歳月を経て繰り返す何事も問題にぶつかりながら、時には止まり自分を見失い自分と向き合い自分を整えながら時を重ねてきた体験から学んだことです。



「たった一人の自分を大切に」
「日々揺れ動く様々な感情に気づき、蓋をせず悩み迷い葛藤、悶絶しながらも「等身大の自分を認めること」を

ネガティブがスラスラ30数個も書けてしまう程、自己肯定感が低く自己受容できない思い込みの激しいアイデンティティの持ち主でした! 皆さんはいかがでしょう?

お互いを認め合い、叱咤激励協力し合えるプロジェクトチームの構築こそ最高の人材教育

にし、家族を大切に、身近な人間関係を認め合い大切にする生き方、日常のすべてに人となり、が反映されます。言葉だったりノンバーバルコミュニケーションだったり。その時々で目の前のお客様へ適切に対応する度量! 教育を受けた翌日から直ぐできるわけではありません。自分で考え判断して現場で臨機応変に対応できるまで、時間をかけ沢山の体験を通して、目の前の人や問題に対して何を課題として介助、自立を振り分け支援、援助の区別ができるのか? 個人で可能なことチームとして関わることを試行錯誤しながら、貴重な人生の時間を費やし学び身に付けていくことこそ誠の人材教育ではないでしょうか?

お客様にとって本当に必要な支援が成されていますか? 「4つのケア」出来ていますか? チェックしてみてください

4つのケアを推進することで一次予防、二次予防、三次予防は円滑に行われます。

【予防が円滑に行われるように整備】
●一次予防：メンタルヘルス不調を未然に防止する
●二次予防：メンタルヘルス不調を早期に発見し適切な措置を行う
●三次予防：メンタルヘルス不調となつた働く人の職場復帰支援等を行う

【人材教育】の素晴らしいコンテンツを持って、最先端の素晴らしい優秀な教育プログラムが存在しているように、誰かに押しつけられた教育やその人、その場にとってマッチしたものでなければ決して芯からの成長、学ぶ姿勢が身に付く教育は望めません。人を育てることは自分を育てること。PCから流れるそつなきプログラムが優秀な人材を育てるものではありません! 感情を揺さぶり心の奥底から湧き上がってくる情熱と介護観が反映された魅力ある人間味溢れる人、人は付いて行く! と思うのではないのでしょうか?

誠の人材教育とはどのような教育でしょうか? 介護者である以前に人としての在り方、考え、行動、自分を大切に

「労働者の心の健康の保持増進のための指針」より引用

「わかると」まさに自分も同じ! そんな風に感じてくれた方に読んでいただけたいことを願います。介護の仕事を通して未だの自分がより良い変化・進化・成長を遂げる為に今何をやるか?に視点を当ててみましょう。

目指して、歳月を経て繰り返す何事も問題にぶつかりながら、時には止まり自分を見失い自分と向き合い自分を整えながら時を重ねてきた体験から学んだことです。

看護師 & メンタルセラピスト 時田 幸子

【命の現場から「看護師とっきーの気づきナビゲート」ブログ】
<http://www.kaigogoyoukiki.net/specialist/tokky/>



職場・日常のエピソードから【幸せの種】になる"気づき"をお届けします。